

昭和九年一月 一四七・三

昭和九年九月

一四九・四

上掲の生計調査は昭和七年八月より昭和九年七月に至る一箇年間の平均であるが、今生計費指数の此の期間中に於ける平均一六七と本年の最高七月の一七四とを比較するに三%の上昇であり、又昭和七年と八年の平均小賣物價指數と本年九月の一四九・四%とを比するに五・四%の上昇を示してゐる。而して前掲生計調査に於て収入總額百圓以上の階級の剩餘は世帯主収入の一八%であり、世帯主収入は九三圓一三錢であるから、世帯主収入百五圓の市電従業員が生計に於ける剩餘率と生計費指數の上昇率三%、小賣物價指數の上昇率五・四%を考慮する時は、その生活程度に激變を與へない程度に切下げるとすれば最高限度二割と押ふべきではあるまいか。

三 年齢及勤続年數

一、東京市電運輸備員の平均年齢は三五・四四歳にしてこの年齢に相當する工場労働者の年齢別一日平均賃銀については見るに、三〇歳乃至三九歳の瓦斯、電気、水道業に於ける平均賃金は二・七〇圓にして市電運輸備員の給與平均に比して一割九分、出勤平均に比して二割八分低く、機械器具製造業は二・八五圓にして出勤平均に於ては二割七分低い。

市電従業員年齢		男		女	
電 車 車 掌	三五歳四四	電 車 車 掌	一八歳一		
同 運 轉 手	三七歳九九	同 運 轉 手	二〇歳四一		
自動車運轉手	三一歳五九				
年齢別労働者並一日平均賃銀(男)統計局調査昭和五年					
總 數	一日平均賃銀	十二十三歳	十四十五歳	十六十七歳	十八十九歳
	同	同	同	同	同
機械器具製造業	二・四一	〇・六〇	〇・六七	一・〇一	一・四一

瓦斯電気水道業

二・五七

〇・四四

一・〇九一

一・二三

一・五〇

機械器具製造業

一日平均賃銀

一日平均賃銀

同

二〇歳二九歳 二・二四
 三〇歳三九歳 二・八五
 四〇歳四九歳 三・一二

一日平均賃銀

同

五〇一五九歳 六〇歳以上

一日平均賃銀

同

二、東京市電従業員業の勤続年數は平均十年にして之に相當する工場労働者の一日平均賃銀に就て見るに、瓦斯電気水道業は二・七一圓にして市電出勤平均に比して二割八分低く、機械器具製造業は二・五二圓にして三割三分低い。

就業年數別労働者並一日平均賃銀 (男)

總 數	機械器具製造業		瓦斯電気水道業	
	一日平均賃銀	同	一日平均賃銀	同
三箇月未満	二・四一	二・五七	九年以上	二・四二
三箇月以上	二・二二	一・七七	十年以上	二・五二
六箇月以上	一・〇九	一・七五	十一年以上	二・六六
一年以上	一・二八	一・七二	十二年以上	二・七三
一年六箇月以上	一・三五	一・九九	十三年以上	二・七八
二年以上	一・三一	一・九七	十四年以上	二・八六
三年以上	一・四九	一・八九	十五年以上	二・八八
四年以上	一・六五	一・九九	十六年以上	三・〇五
五年以上	一・八三	二・一四	二十年以上	三・三一
	一九四	二・二八	二十五年以上	三・五三